私たちは、今ここにいる

～日本の移民問題とは何か～

今年 2 月に、国外処分を受けた外国人の入管施設滞在が長期化しないようにする「出入国及び難民認定法」の改定が閣議決定されました。この改定により難民の人の命綱が脅かされることになりました。

日本の入管法の改定の大きな節目は 1989 年にあります。この改定は日本が「労働力」を得るために世系を条件とした在留資格で日系ルーツの人を滞在させるようにしたものです。以降、「都合のいい外国人」を得るための改定が行われてきました。

日本社会には 260 万人を超える外国人が生活するようになっており、カトリック教会は外国人の人たちの大切なコミュニティになっています。その一方で政府は移民政策を取ることはしていません。このことは外国人の生活基盤を非常に脆いものにし、基本的人権を危うくしています。困難な立場にある人を人間として扱わないことは、国籍に関わらずあらゆる人の生を脅かすことに繋がります。私たちは記号ではなく、今を生きている人間でそれぞれに物語があり、日本に住む移住者の人も同じです。そこに思い至ることが共に生きるためには重要ではないでしょうか。

今回は、鳥井一平さんを講師に迎えます。日本の移住者について制度の問題と今起こっていることを学ぶ機会にします。

講師　鳥 井 一 平 さん

日時　2021 年 6 月 5 日(土)

１４：００～１６：３０

定員　40 名（先着順）

【講師プロフィール】

移住者と連帯する全国ネットワーク代表。長年外国人労働者の問題に取り組む。2013 年、アメリカ国務省による「ヒーロー賞」受賞。2019 年、NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』において活動が放映される。著書に『国家と移民ー外国人労働者と日本の未来』（集英社新書）がある。

場所　カトリック河原町教会
ヴィリオンホール
（京都市中京区河原町三条上る）

参加費　無料

主催・申込先
京都教区カトリック正義と平和協議会
電話　075-366-6609
（火・木 曜日 10：00 ～17：00 ）
Mail-seiheikyo@kyoto.catholic.jp

申　込　書

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　メールアドレス＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属教会名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※個人情報は当該事業以外には使用しません。